

令和4年8月1日

日の出タクシーの現状について

有限会社日の出タクシー

實田 照野

早朝フェリーの送迎対応について、試験的に運行することを考えておりました。ドライバーと話し合いをしたところ、「弊社で対応しなければならない」といった認識で当初、賛成の意見でした。

しかし、その後、具体的な勤務シフトを考えたところ、人員不足や運転手の高齢化などの問題により、早朝の時間にタクシーを運行することは厳しいと判断しました。現在、日の出タクシーの運転手は5名しかおらず、5名とも65歳～76歳の高齢者で、それぞれ持病を抱えながら働いている状況です。シフトは8時～24時の早番が2名、9時～25時の遅番が2名おり、早番と遅番から1名ずつ出勤し、1日おきに交代する隔日勤務となっています。他1名は視力が悪く、夜間の運転が厳しいため8時～17時までの勤務で月曜日から金曜日が出勤日となっています。平日は3台、休日は2台で稼働しています。

このような状態で営業しているため、もし早朝の3時ぐらいに1名を配置するとすると、昼間の運転手が不足してしまい、売り上げが減ってしまうことが予想されます。また、フェリーのお客さんがタクシーを利用する頻度も読めない中、予約があった時は3時からの勤務、予約がない時は通常勤務というように調整するのも困難です。同じ時間に複数件の予約が入った場合も、1台対応ではお客さんを待たせてしまうため、対応が困難です。

また、来年度に免許更新を控えている運転手がおりますが、視力検査で引っかかる可能性があります。タクシーの営業には車両台数5台と運転手の登録が最低5名必要であり、もし視力検査等で免許更新ができなかった場合は4名になってしまい、条件を満たさないため、営業することが厳しくなってしまいます。他の運転手についても高齢であるため、ここ数年内に退職することも予想されます。

会社自体も毎年赤字経営が続いている状況であり、今いる運転手ができる限りで、営業をたたまなきやいけないと考えております。このような理由から、早朝のタクシーの運行は厳しいと判断させていただきました。ご理解のほどよろしく願いいたします。